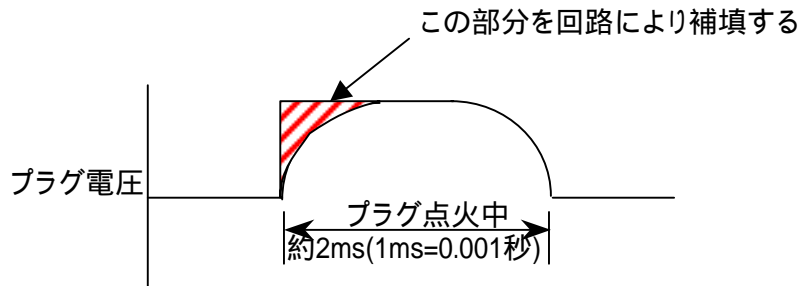


電圧オーバーシュート回路について

理論

車のエンジンが回る際に、点火プラグで電気により火花を出す。
この時の電圧は瞬時に立ち上がる方が、より大きな力を得やすい。
しかしながらバッテリーからの電力供給能力では、ゆっくりとしか電圧は立ち上がらない。
そこで、バッテリーに瞬時に立ち上がる充放電回路を追加し、瞬時に立ち上がるようにする。



取付方法

バッテリーの + 端子に赤、- 端子に黒の端子をそれぞれ接続し、走行中回路が暴れないようにタイラップなどで適当な位置に固定する。

効果について

火花が強烈に立ち上がることにより、エンジン出力が上がる。
ただし、ピークパワーをあげるものではなく、フィーリングが上がる。
例：低速の粘り、アクセルのツキなど
エンジン出力については、低出力の車にわかり易い効果が出た。
出力の大きい車では効果がわかりにくい。
もともとの出力に対して補填する出力が小さいためだと思われる。
出力が大きくなる分、アクセル開度を少なくできるため、燃費の向上も期待される。

またオーディオにも効果が現れる。
スピーカからの音を出力する際には、点火プラグと同様に、電圧の立ち上がりが鋭い方が、音の再現性が増すためである。

効果例：音がきれいになった。細かい音が出るようになる。音割れがしなくなった。
オーディオは実験の結果、ほぼ全車に何かしかの効果が現れた。

使用可能車

点火プラグを使用する車。2輪も可。6V・12V使用可。